

## 平成 28 年度 第一回 在宅医療推進のための多職種研修会 報告

日 時：平成 28 年 4 月 9 日（土）14 時～16 時 30 分

場 所：刈谷医師会会館 3 階ホール

### 参加人数

総人数：126 名（一般参加者 115 名 講師座長 5 名 行政職員（スタッフ）6 人  
医師 16 人、歯科医師 1 人、薬局薬剤師 10 人、訪問看護師 10 人、訪問リハ 5 人  
保健所職員 1 人、ケアマネジャー 56 人、行政職員 3 人、歯科衛生士 1 人  
診療所職員 4 人、その他 8 人

### プログラム

- ・主催者代表挨拶 … 刈谷医師会 会長
- ・基調講演 「在宅医療をはじめ」… 講師 愛知県医師会理事 野田正治 様  
座長 刈谷医師会理事 鈴木一正 様
- ・シンポジウムテーマ

#### 「在宅医療における多職種の役割と機能を理解する」

座長 刈谷医師会理事 鈴木一正 様

演者 ①訪問歯科診療の実際 …	長沢 歯科	長澤 恒保 様
②薬剤師の立場から …	ファルコムはやぶさ薬局	新美 徳洋 様
③訪問看護師に立場から…	刈谷訪問看護ステーション	新美 亨子 様
④介護支援専門員の立場から…	ニチイケアセンター幸町	丹村 恵 様

### 内 容

在宅医療のための多職種連携研修会を開催しました。平成 27 年在宅医療サポートセンターの事業が開始され、在宅医療の実施状況を調査しました。その結果、多職種間の連携が図れていないことが明らかとなり、この研修を企画しました。

刈谷医師会管内において多職種間が一堂に会して研修会は初めての試みで在宅医療介護の関係者のスタッフが多く参加されました。また、医師会管内の刈谷市・知立市・高浜市、衣浦東部保健所の協力の得てスムーズな運営ができました。

基調講演は、野田先生の実務体験から講演が始まりました。参加者の多くが先生の在宅医療に対する情熱に感動し、講演を拝聴しました。ICT に関すること、各種会議（退院カンファ・地域ケア会議・サービス担当者会議等）に積極的に関わることなど、参加された医師・ケアマネ等に強いインパクトを与えました。講演テーマ「在宅医療を始める」は本研修の目的・意義が網羅されたご講演であり満足度も高く有効であったと感じています。

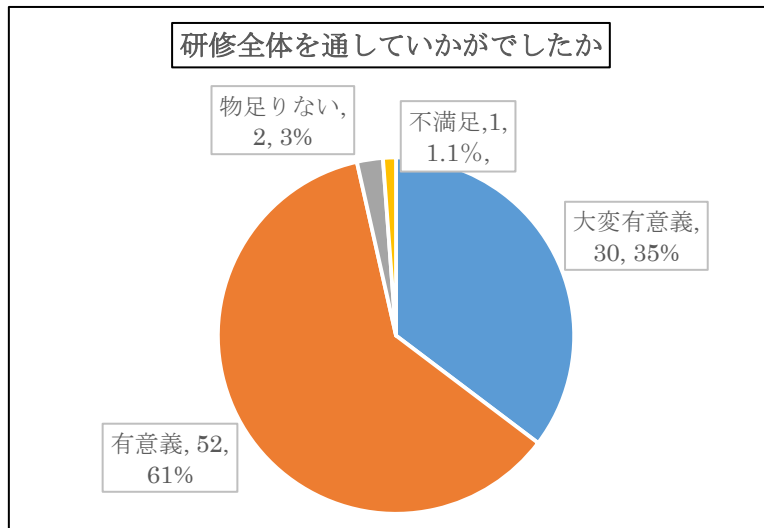
シンポジウムにおいては、講師の先生の専門職の立場から「自分たちにできること・求められていること、今後の機能拡大にむけて」をご高説頂き、多職種の役割と機能についての理解が深まりました。今後、多職種連携がスムーズに進むことで、在宅療養者へサービスの向上へと繋がることを期待したいと思います。

シンポジウムでは時間が不足しディスカッションが十分行えませんでした。次回の研修会へと繋いでいく必要を感じています。

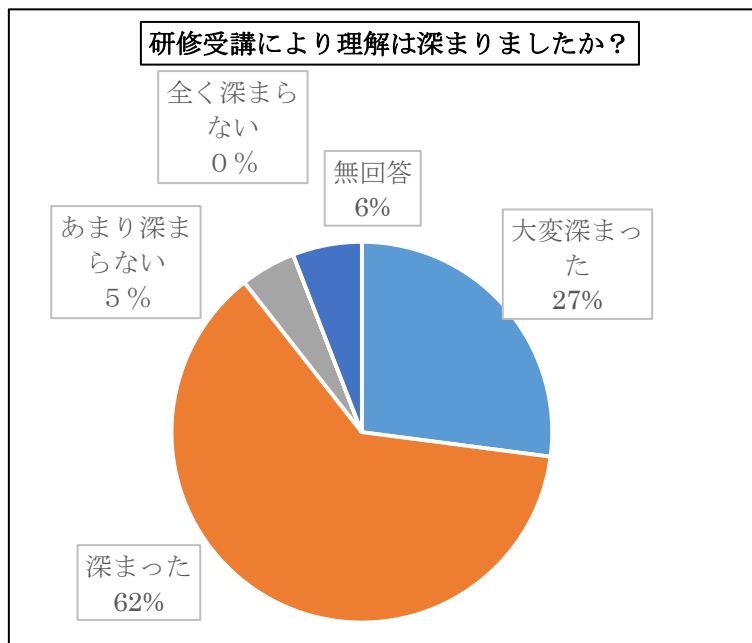
研修後にアンケート調査を行いました。(詳細は下記参照) その結果、研修内容は有意義であったと9割が回答し、自由意見内容からみると満足度も高く、多職種連携についても理解を深め、さらに実践していきたいとの意見が多くを示していました。

研修会の目的はアンケート結果や、研修会場の熱気からみても目標は達成できたと考えます。

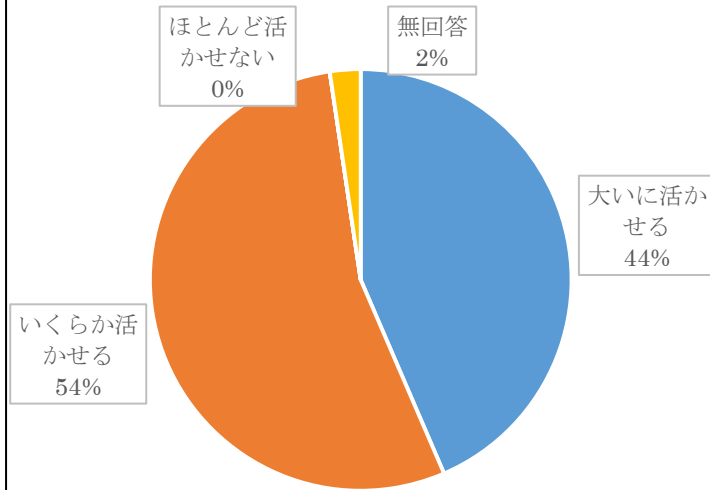
### アンケート結果 回収率 75%



- ・ 医師・薬剤師・訪問看護師（訪問リハ）では全員が有意義と回答。
- ・ 不満足、物足りないとの3名はケアマネ、その他の参加者であった。

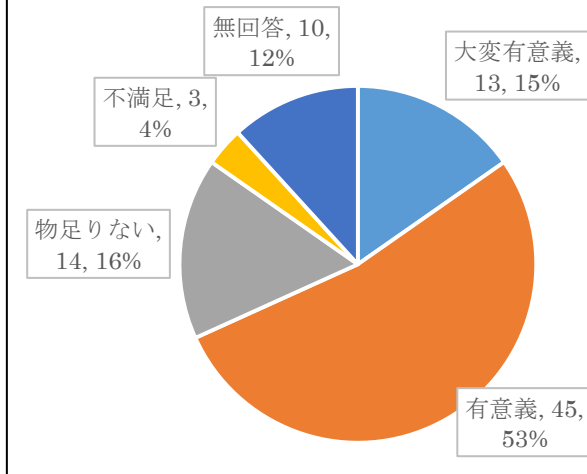


### 研修内容は今後の職務に活かせると感じたか？



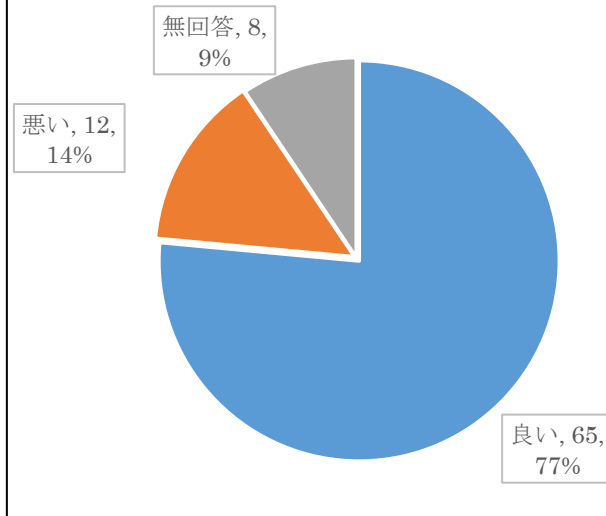
- ・研修会は、off-JTの一環であり、学んだことを現場で活かすことが研修会本来の目的である。アンケート回答者83名98%が今後の職務に活かせると感じている。
- ・基調・シンポジウムで学んだこと、感じ取った事を現場で活かし各々が向上することを期待する。

### シンポジウムはいかがでしたか？



- ・他職種の現状が理解できた、各職種の話がきけて良かったという有意義であったとの回答が68%あった。
- ・しかし全体の時間が足りない、シンポジウムの討論を聞きたかったと物足りないとの回答者も多くあった。

### 研修会場の環境は？



- ・募集人員100名の予定で会場設定し、参加者は126名。駐車場・会場が狭いとの意見があった。

## 主なアンケート全体の感想・意見

- ・多職種連携の必要性を痛感した、積極的に行っていきたいと思った。
- ・医師を含めた議論ができる場は少ないので大変貴重な場と思う。
- ・定期的な開催を望む。
- ・地域包括ケアの中心のケアマネに必要な学びを多職種で作っていきべきだと思う。
- ・医療連携はもとより、福祉・介護・保険者・行政との連携の必要性を感じた。(数名)
- ・他職種の方が一同でのシンポジウム開催はわかりやすくよかった。

